

第5学年 算数科学習モデル指導案

1. 単元名 「立方体や直方体の体積」
2. 本時について

(1) 本時の目標

○直方体などの体積の公式が分かり、複合図形の体積を適切な方法で求めることができる。

(2) 本時の展開(最後の7分の展開)

分	教師の支援	学習活動
2	<p>○複合図形のいろいろな体積の求め方を学習した後、マンガ資料を配布する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆マンガ資料「さがせ！勝利のヒ・ケ・ツ」を配布し、「勝利の秘訣」だと思ったセリフに線を引きながら読ませる。</p> </div> <p>○「勝利の秘訣」だと思って、線を引いたところを発表させ、話の内容を整理する。</p>	<p>T：ここで、みんなが大好きな、マンガを配るから、黙って読んでみましょう。時間は1分あげます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆複合図形の求積の学習と、このマンガとの共通点を話し合わせる。</p> </div> <p>T：どんな内容のマンガでしたか。 C：サッカーの試合で、試合中に作戦を変更して勝てたという内容でした。 T：それでは、線を引いたところを発表してください。 C：「臨機応変に行こう！」 C：「いくつかの作戦を考えておいてよかったな」</p>
3	<p>○気づいたところを自由に発表させる。 *小グループで少し話し合わせてから発表させてもよい。</p>	<p>T：このマンガと、算数で学んだ体積の求め方には、どんな共通点があると思いますか。 C：難しい場面でも、他のやり方で解決できる可能性があることです。 C：いくつかの作戦から、問題に応じて適切な作戦を選ぶところです。 C：どの方法を使っても、最後には必ずできるということです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。</p> </div>
2	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 20px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>体積の求め方で学んだように、1つの答えを求めるにも求め方はいろいろあります。そして、いろいろな求め方を知っていれば、そのときの状況や場面に合わせて、最適な解き方で答えを導くことができます。スポーツ以外でも、場面によっていろいろな解決の可能性があるのではないかと考えることが大切です。そして、場面によっていくつかの解決の仕方を使い分けることも大切です。</p> <p>「臨機応変に」「1つにこだわらず」というキーワードをこの算数の学習を通して学びましたね。さらに、友だちの解き方・解決の仕方をよく聞いて参考にすると、もっと考え方が広がります。</p> </div>	

